

いかりスーパー 塚口発祥の高級スーパー

阪神間で高級スーパーと言えば「いかり」を思い浮かぶ人も多いと思います。下の各写真は創業間もない頃のいかりスーパーです。今や京阪神間を基盤に二十余店を数えますが、昭和36年に出店した記念すべき第一号が、この塚口店です。「いかり」の名前は、創業者：行光 博志氏が、その兄の営む洋菓子製造業「錨堂」の仕事を手伝っていたことに由来します。創業から12年間は他への出店を控え、この塚口店に経営を集中しました。正面入り口には「IKARI SUPER MARKET」の看板文字が目立ちます。当時から外国の食材や良品を積極的に取り入れ、他の小売店や市場とは一味違った店づくりに努めました。

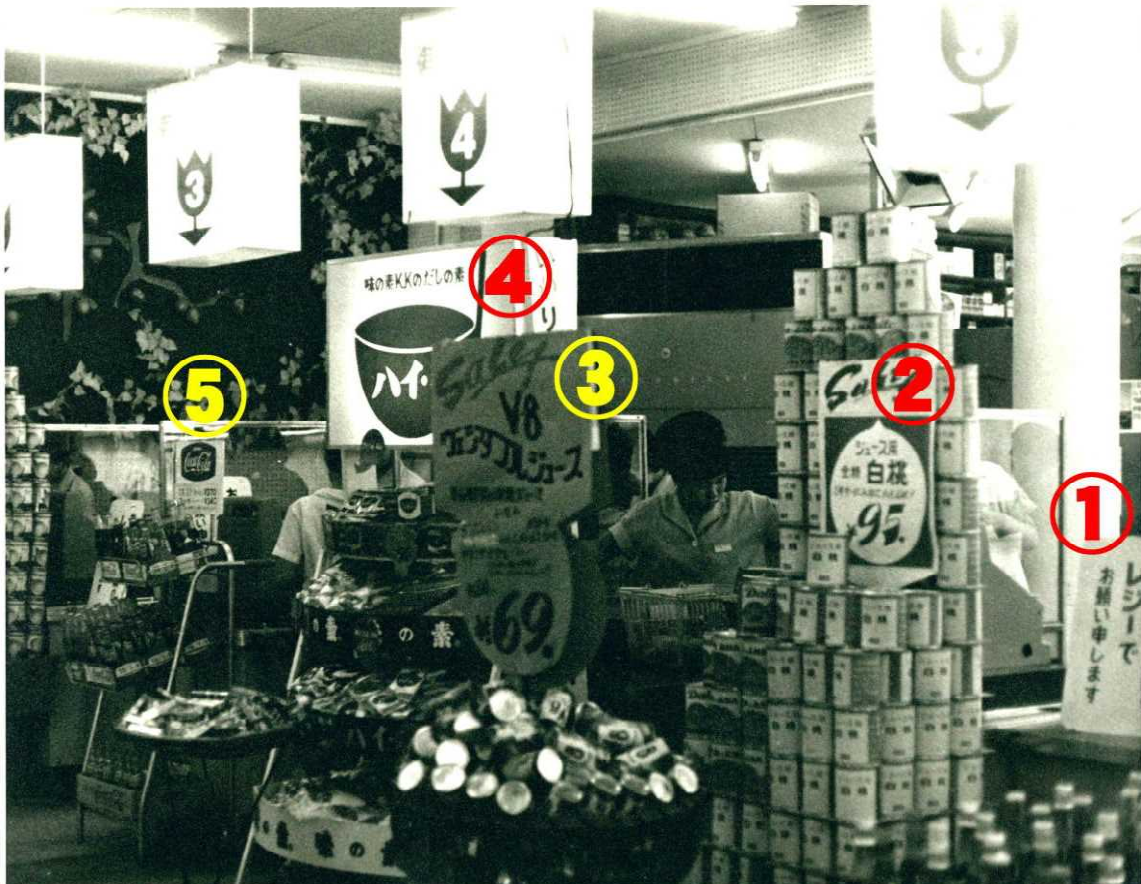
これは、洋菓子作りの修業時代に培った「食材を見抜く確かな眼」と「洋食材への関心」があつてのことでしょう。また、東京の高級スーパー「紀伊国屋」さんからもノウハウを学びました。そして、3号店を高級住宅地で名高い芦屋に出店したことで、ブランドイメージはさらにアップしました。掲げる看板の背景には、創業者の経験や想いが刻み込まれているのです。



水産乾物売り場付近

☆品定めをする女性 ☆左手 沢山の買い物客 にぎわう店内

☆北海道喜茂別町クレードル社のアスパラガスの缶詰が145円



レジ付近

- ①「レジ」ではなく「レジー」の表示
- ②ジュース用全糖白桃 95円
- ③キャンベルV8野菜ジュース69円 アメリカからの輸入
元祖の野菜ジュース
- ④「ハイ・ミー」の看板 味の素KKが製造するうま味調味料
- ⑤コカ・コーラ



レジ係の女性

☆当時としては、画期的な樹脂製のかご

☆値段を見ながら、レジを打つ

買い物風景

☆買い物かご い草や籐など植物を編み込んだもので、当時は一般的でした。パーマ姿も同様です。

☆ハインツのミートソース98円
買えばスパゲティがおまけで貰える。

